

令和7年度 吉田小学校学校経営構想

児童の実態

- ・決められたことに誠実に取り組むことができるが、自ら仲間にはたらきかけながら、新しいことに挑戦したり、方法を改善したりすることは苦手である。
- ・仲間と協力して活動を行うことができる。しかし、壁にぶつかった時に自分で粘り強く考え、解決策を見出し行動することは苦手である。

地域の願い

- ・若い世代の人たちの力で、美並町を盛り上げていてほしい。
- ・いずれ美並町を離れることがあっても、それぞれの場所で自分らしさを発揮して活躍してほしい。
- ・美並町から離れていても、時々、故郷のことを思い出して考えてほしい。

子どもに付けたい力と学校の教育目標

- ①自分で進むべき道（方法）を考え、新たな挑戦をする力
- ②自信をもってやると決めたことを最後までやり抜く力
- ③一人一人に①と②の力を付けるための基盤としての、お互いの違いや頑張りを中心に認め合える仲間関係

どんな集団の中でも、自分一人でも、自分で進むべき道を定め、粘り強く探究し続ける力

よりよく

しんぼうよく

みんなをだいに

学校の教育目標
進んでやりぬく子

各場面における指導

授業では

学習課題を理解し、見通しをもって意欲的に学ぶとともに、自分のめあてに向かい、一人でも粘り強く学び続ける子を育てる。
仲間と意見を出し合いながら考えを深め、学年に合った学力を身に付ける子を育てる。

- ・学び方を身に付ける
- ・見通し・粘り強さ
- ・仲間と共につくる授業

学校の日常生活では

自分のよさに気付き、自信をもってどんな活動にも全力で取り組み、仲間と支え合うことでさらに自分一人でもしんぼうよくやってみようという気持ちを大切にできる子を育てる。

学校の日常生活の各場面における「挑戦する→やり切る→やり切る→やり切る」の価値を自覚→さらなる挑戦」をサイクルとする指導

行事や係活動などでは

自分に与えられた役割に責任をもって誠実に取り組み、しんぼうよく全力で取り組むことで自己有用感を感じ、さらに自信をもってどんな活動にも挑戦し、「仲間と関わりながら活動するよさ」を大切にできる子を育てる。

- ・学級での活動
- ・児童会の活動
- ・チームでの活動



を
自己肯定感・自己有用感

指導の根底にあるもの

教育相談・いじめの未然防止

一人一人のわずかな変化にも気づき、常に組織で素早く対応することで、誰もが安心して学校生活を送り、自分のよさを十分に発揮できるようにする。

- ・いじめ防止基本方針に基づく取組
- ・全職員体制による教育相談
- ・子ども支援会議による組織対応

体力・健康・安全づくり

健康・安全に係る活動の各場面において、子どもの頑張りや成長を認めることで、命を守る大切さや自分の成長を自覚し、健康で安全な生活を送ろうとする子どもを育てる。

- ・吉田フェスタⅠ（運動会）
- ・縦割りのチーム活動・縄跳び
- ・「命を守る訓練」を軸とした安全指導

家庭や地域との連携

目指す子どもの姿を共有

家庭や地域と共に「進んでやりぬく子」を育てる

家庭との連携

子どもの様子を継続して伝えることで、子どもの頑張りや成長を保護者と共有したり、課題点を考えたりできるようにする。

- ・通信・すぐー等による発信
- ・その時その時の機会を生かした教育相談

地域との連携

子どもの様子を伝えるとともに、地域の方に子どもの姿を見ていただく機会を設け、目指すものを共有できるようにする。

- ・学校運営協議会
- ・スマイル活動
- ・吉田っ子育て隊

総合的な学習の時間

自分と地域（人、もの、こと）との関わりの中で、進んで課題を見出し、進むべき道（方法）を定め、自己のあり方や生き方を考えて粘り強く探究し続ける態度を育てる。

探究課題「美並を知ろう」

- ・3年生...美並のすてき（郷土）
- ・4年生...美並のやさしさ（福祉）
- ・5年生...美並の自然（環境）
- ・6年生...美並の防災と文化（郷土・防災）